

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

日東粉化工業 株式会社 東城工場

(2) 事業所の所在地

広島県庄原市東城町川西1448番地1

(3) 業種

細分類番号2186 鉱物・上石粉砕等処理業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成26年度を基準年度とし、平成27年度から平成31年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

- ・当社の電気設備の大半は旧設計の設備が現存しており、経年劣化による故障を危惧しています。そのことを踏まえた場合、電気設備の更新・改善が生産への安全性・信頼性の向上とともに温室効果ガスの排出抑制につながると考えています。

4 温室効果ガスの排出状況(二酸化炭素換算)

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量(t-CO ₂)		
	平成26年度	基準年度	直近年度
		平成26年度	平成27年度
二酸化炭素	7,795	7,795	7,836

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量(t-CO ₂)		
	平成 年度	基準年度	直近年度
		平成 年度	平成 年度
二酸化炭素			

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量(t-CO ₂)		
	平成 年度	基準年度	直近年度
		平成 年度	平成 年度
メタン			
一酸化二窒素			
HFC PFC SF6			

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位:排出量(t-CO₂), 削減率(%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成26年度)		削減目標		目標年度 (平成31年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)	
エネルギー起源CO ₂	7,795	3.0	234	7,561	
非エネルギー起源CO ₂				0	
メタン				0	
一酸化二窒素				0	
フロン類				0	
温室効果ガス 実排出量総計				0	
温室効果ガス みなし排出量		-		0	
目標設定の考え方	エネルギー起源CO ₂ は排出 5年間で3%の削減率				

※ 削減率(b)=(c)/(a)×100 削減量(c)=(a)-(d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標:

単位:排出量(t-CO₂), 原単位量(kg等), 削減率(%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)			原単位 削減目 削減率 (d)	基準年度 (平成 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)		排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂							
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	-	-			-	-	
目標設定の考え方							

※ 削減率(d)={c)-(g)}/(c)×100 原単位(c)=(a)/(b) 原単位見込(g)=(e)/(f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	電力使用量の3%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・インバータ制御 ・変圧器の一部 統合・廃止 ・設備更新
2			
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み(環境価値の活用等)

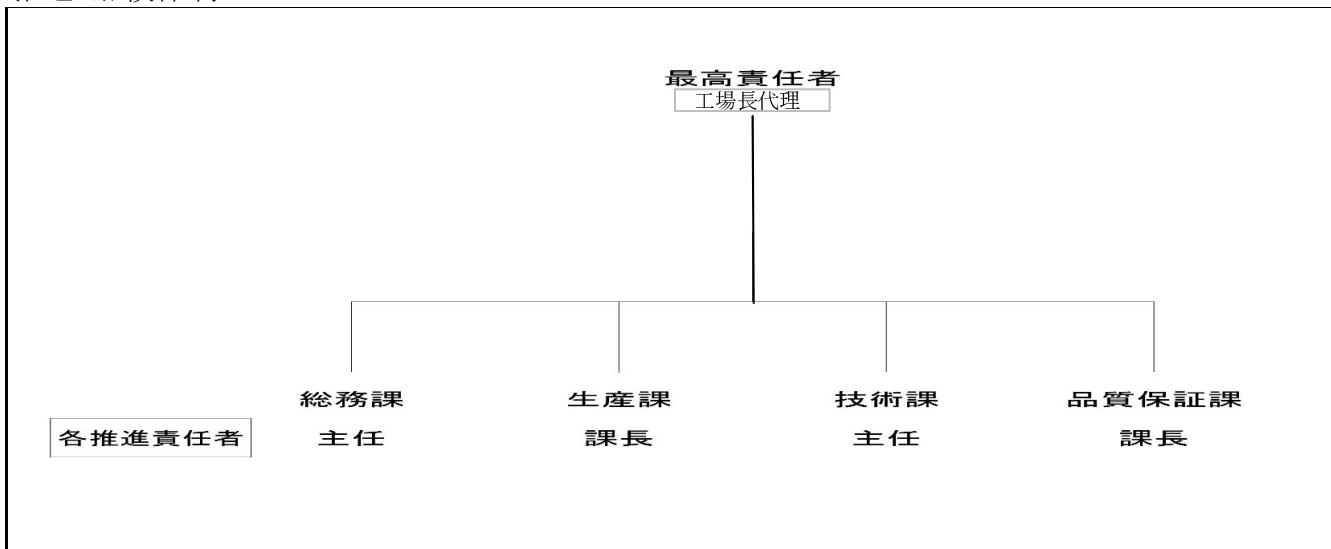
	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1			
2			
3			

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

・技術課を中心として、毎年温室効果ガス削減計画の取り組み状況の把握・点検及び問題点の検討を行い会議において評価・見直し、継続的に向上を図る。
また、毎年度の取り組み状況、点検・評価内容等については、計画書とともに公表する。

(3) 計画書等の公表

・各推進責任者へ回覧する。